

令和3年度 富山市通学区域審議会
第4回審議会における審議とりまとめ（案）

I 富山北部地域

—ポイント—

- いずれの案も妥当であるが、富山北部-1は再編後の地域固有の取り組みの継承が課題である。
- 富山北部-2、富山北部-3(1)(2)は校区が分かれるかどうかについて、地域の方々の意見、選択を尊重することが大切である。
- 通学距離が3kmを超える児童については、通学手段の確保、過度な負担を与えないような工夫、取り組みが必要である。

1 通学区域変更について

○校区が分かれることの賛否については、地域によって温度差があると思う。

〔学識経験者〕

○現在は針原小学校の児童の一部が新庄中学校に進学するが、針原小学校のすべての児童が北部中学校に進学することになれば、富山北部-2でも中学校進学先が分かれることはなく、児童に精神的な安定を求めることができる。一方で新庄中学校の方が近い場所に居住する児童もいるので、富山北部-2では、北部中学校と新庄中学校のどちらに進学するかを選択できるような弾力性があるとよい。

〔学校関係者〕

2 スクールバスについて

○小学1年生では2kmを超えると1時間以上歩くことになるため、スクールバスの対象範囲について検討が必要だと思う。

〔学校関係者〕

3 地域文化について

○岩瀬固有の祭り等の伝統文化の子どもたちへの継承について、岩瀬小学校については統合後も配慮が必要である。

〔学校関係者〕

Ⅱ 和合地域

—ポイント—

- 和合-1 がよいとする意見が多く、小・中学校併設による様々な教育の展開の可能性が考えられる。
- 小・中学校併設の検討にあたっては、通学距離が3kmを超える児童に配慮するなど、保護者や地域の理解を得られるよう努められたい。

1 中学校併設としたときの教育環境について

- 和合中学校の用地は広く、隣に和合運動広場もあり、利用価値があると思うので、中学校併設案（和合-1）がよい。〔学識経験者〕
- 地域内のいずれの小学校も進学先は和合中学校であることから、芝園小学校、芝園中学校のような造りになると思う。地域の声も十分聞いたうえで同意が得られれば、中学校併設案（和合-1）がよい。〔学校関係者〕
- 高岡市国吉義務教育学校の教育は素晴らしく、地域からの評判もよく、他校区から通学したいという希望もあるようである。新しい形での併設型小中一貫教育をするのであれば、モデルになるような教育内容も、学校を造るのと同時に考えてもらいたい。〔学識経験者〕
- 中学校併設案がいいと思うが、小中継続した教育により何を目指すのかという姿勢についても、地域に対して丁寧に説明してほしい。〔学識経験者〕

2 地域生活圏と通学距離について

- 中学校において徒歩通学と自転車通学の境目はおよそ2kmであるということも踏まえ、徒歩で通学できる距離について、3kmというよりは2kmとした方が適切ではないか、考えていく必要がある。〔学校関係者〕
- 和合-1では通学距離が3kmを超える児童が約50名いるのに対し、和合-3ではほとんどの児童の通学距離が3km以内である。また、他地域の小学校よりも地域生活圏内の小学校の方が通学距離が遠くなる場合も考えられ、地域生活圏と通学距離のどちらにウエイトを置くかという観点もあるとよいのではない。〔学識経験者〕

Ⅲ 呉羽地域

—ポイント—

- 呉羽小学校に最終的に統合するという形であれば、地域の理解を得ながら、複式学級の解消を優先するなど、柔軟なスケジュールで統合を進めていくことが望ましい。
- 通学距離が3 kmを超える児童への対応が必要である。
- 放課後や長期休暇の子どもの居場所確保を考慮することや、従来からの学校間の結びつきに配慮することが必要ではないか。

1 段階的統合の進め方について

○複式学級のある学校と全学年単学級の学校では、保護者の統合に対する意識は異なると思う。一次統合の時期は違ってでもいいということなので、一次統合は保護者や地域の意見を聞きながら、切実感のあるところから考えていってはどうか。〔学校関係者〕

○呉羽地域のある町内会では、小学校がなくなるのはさみしいが複式学級を解消しなければならないという意見が大半で、統合には概ね賛成のようだった。それでも地域への説明を始めてすぐに再編できるわけではなく、その間にも児童数は減少する。最終的にはすべて呉羽小学校に統合するので、呉羽小学校のキャパシティを考慮しながらではあるが、最初から呉羽小学校に統合する、あるいは、一次統合にとらわれず、各校区で丁寧に意見を聞き、合意したところから順次、呉羽小学校に統合していくといった方法もある。

〔学識経験者〕

○地元からは、古沢小学校や池多小学校は老田小学校に一次統合するのではなく、複式学級の解消を優先し呉羽小学校に統合した方がよいという意見があった。〔学識経験者〕

2 通学距離について

○呉羽地域は広いので、呉羽小学校に最終統合する場合、スクールバスの運行が必要である。〔学識経験者〕

3 教室充足状況について

○子ども会のなかには、学校の教室を借りて開設している場合もあると思うが、放課後や長期休暇の児童の居場所の確保は引き続きお願いしたい。

〔P T A代表者〕

4 学校間のつながりについて

○それぞれの学校間の交流が進められてきた歴史的な流れから、古沢小学校と池多小学校および寒江小学校と老田小学校は切り離せない学校である。

〔学校関係者〕